

デルフィニウム(エラータム系)  
*Delphinium*  
 (キンポウゲ科)

八重の大輪の花が花穂状につく雄大な1本立ちタイプ。本来は花壇用の宿根草であったが、STSの  
 実用化で切り花としての利用が増えた。STS前処理のもっとも効果が大きい切り花のひとつである。S  
 TSで処理をしていない場合には、花卉が激しく落ちる。水あげはよいが、花穂からの蒸散が大きく、萎  
 れやすい。夏は花穂の1/4程度、冬は1/2程度が開花した切り前で出荷される。花穂が大きいので輸送  
 中に傷みやすい。横箱では屈地性で花穂の先端が曲がる。

日持ち終了の主な症状は、花卉の萎凋である。1/2以上の小花が萎れると日持ち終了とする。

1) 品質評価基準

項目	判定基準	備考
小花の萎凋	A: 張りがある B: 花卉が外側に巻き、やや軟らかい C: 花卉が軟らかく、萎凋し、花梗が折れ、小花が下を向く D: 萎凋し、花梗が萎れ、小花が垂れる	
蕾の開花・萎凋	A: 張りがあり、下位のつぼみから開花が進む B: 開花が止まり、やや軟らかい C: 軟らかく、やや変色する D: 軟らかく、変色し、下を向く	小花の萎凋と平行し て蕾の萎凋が進行す る。
開花程度	A: つぼみの開花が進み、C、Dの小花がない B: つぼみの開花が止まり、花穂基部の小花にBが認めら れる C: C、Dの小花が1/3程度 D: C、Dの小花が1/2以上	
その他	葉の褐変など	葉を除去してから生 けられることが多い。 物理的に葉柄が折れ ると、萎凋し、褐変す る。

2) 留意点

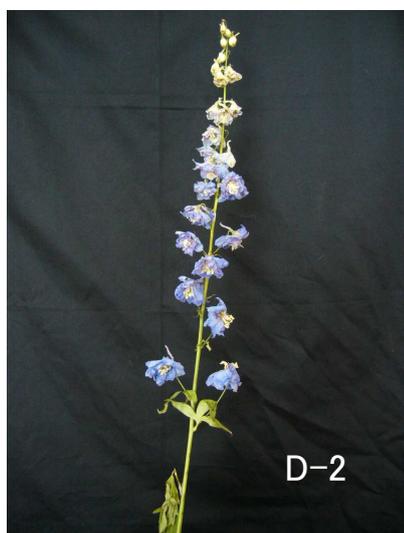
市場に出荷されたデルフィニウムは産地でSTSで前処理されているので、花卉や小花が落ちること  
 はない。

切り前が進みすぎている、STS処理の不完全や、輸送中のむれで花卉が落ちることがある。

軟弱な切り花は茎の空洞が大きく、生け花中に茎折れすることがある。

葉柄は物理的に折れやすいので、上位葉を残して取り去る。

### 3) 開花



#### 4) チェック事項

花卉がやや萎凋



花卉が萎凋



花梗が折れる



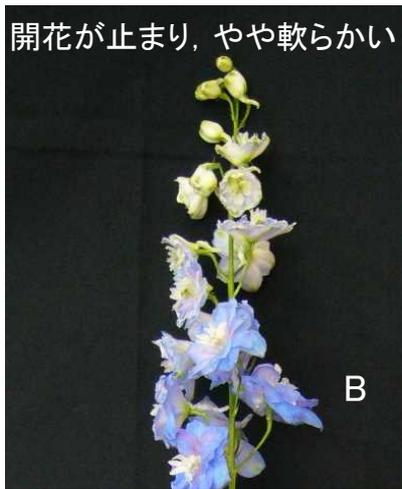
花梗が萎れる



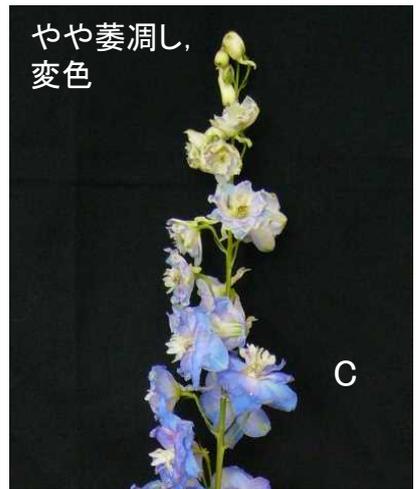
蕾



開花が止まり、やや軟らかい



やや萎凋し、  
変色



萎凋し、変色



葉



葉柄の折れ

